

『タンホイザー』参考資料のご案内

新国立劇場での観劇前には作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介いたします。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

過去の公演プログラム

2007/2008 SEASON **タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦**（2007.10）

参考図書

<楽譜>

Tannhauser	C.F.Peters	1972年発行	フル・スコア
Tannhauser	C.F.Peters	1974年発行	ヴォーカル・スコア
Tannhauser	Breitkopf & Hartel		ヴォーカル・スコア

<対訳>

ワーグナー **タンホイザー**

日本ワーグナー協会＝監修／三宅幸夫・池上純一＝編訳／五柳書院 2012年発行

ワーグナーによるロマン的オペラの真髄「タンホイザーとヴァルトブルクの歌合戦」。エロスと聖性をめぐる愛の彷徨、芸術と生、罪と罰、そして救済への憧憬。詳細な音楽注と訳注、解題により、この人間ドラマが解き明かされる。

ワーグナー **タンホイザー**（名作オペラボックス）

アッティラ・チャンパイ ディートマル・ホラント＝編／音楽之友社 1988年発行

リブレットの対訳から、『タンホイザー』の題材の根拠、成立史と初演をめぐる状況、『タンホイザー』上演についてのワーグナーの注釈、後世の評価、ディスコグラフィまで幅広く網羅した資料集。

ワーグナー **タンホイザー**（オペラ対訳ライブラリー）高辻知義＝訳／音楽之友社 2004年発行

台本テキストを数行単位で原語と日本語訳交互に記載しているので、CDやDVDを鑑賞しながら原文と訳文を同時に追うことができる。

<作品関連>

ワーグナーと恋する聖女たち—中世伝説と現代演出の共演 奥田敏広＝著／松籟社 2011年発行

エリーザベト伝説からカタリーナ・ワーグナーまで。近代文学の伝統をワーグナーオペラの現代演出とキリスト教聖人伝説の相克から照らし出す。『タンホイザー』については第3章に記述。

タンホイザー 高辻知義＝訳／東逸子＝絵／新書館 1986年発行

吟遊詩人騎士タンホイザーは、異教の女神ヴェーヌスの官能にとらわれつつ、清らかな乙女エリーザベトの魂の愛に救いをもとめる。快楽と心の平和の間でゆれ動く伝説の騎士の姿をロマンチックに描く。

ワーグナー（作曲家別名曲解説ライブラリー）音楽之友社＝編／音楽之友社 1992年発行

<作曲家関連>

ワーグナー—シュンポシオン 2012／年刊ワーグナーフォーラム 2002～2011／

ワーグナー—ヤールブーフ 1992～2001／年刊ワーグナー 1981～1991 日本ワーグナー協会＝編

作曲家リヒャルト・ワーグナーに関する最先端の研究成果や、多彩なワーグナー情報（国内外の上演や出版）を収録するほか、音楽文化の多面的な領域を横断するエッセイ集としても読みごたえのある芸術雑誌。

図説 **ワーグナー** ハンゼン・ヴァルター＝著／小林俊明＝訳／アルファベータ 2012年発行

芸術史上最大の天才にして、オペラの革命家。戦争と革命の19世紀を背景にしたワーグナーの波乱の生涯を188点の絵画・写真で再現。

ワーグナー論 アラン・バディウ＝著／長原豊＝訳／青土社 2012年発行

ニーチェ、アドルノ、ラクー＝ラバルトなど多くの思想家を魅了し続ける巨人ワーグナー。そのイデオロギー的枠組みを整理し、現代哲学の軌跡をも大胆にたどるワーグナー熱愛者による壮大で挑発的な講義録。

友人たちへの伝言

リヒャルト・ワーグナー＝著／三光長治＝監訳／杉谷恭一・藤野一夫・高辻知義＝訳／法政大学出版局 2012年発行
芸術の不毛をもたらした社会の現状を糾弾し、芸術理論の歴史哲学的基盤を確立すべく執筆された若きワーグナーの総合芸術論。『芸術と革命』、『未来の芸術作品』、『未来の芸術家像』、『友人たちへの伝言』を収録。

炎の遺産ーリヒャルト・ワーグナーの孫娘の物語

フリーデリント・ワーグナー ページ・クーパー＝著／北村充史＝訳／論創社 2011年発行
ワーグナー音楽の熱烈な崇拝者であるヒトラーの支持のなかで、バイロイト音楽祭はどのように運営されたのか。ワーグナーの孫娘であるフリーデリントが、亡命するまでの日々を語るなかで出てくる、激動期の音楽祭とその一族。

ヒトラーとバイロイト音楽祭ーヴィニフレート・ワーグナーの生涯(上)戦前編 1897-1938

ヒトラーとバイロイト音楽祭ーヴィニフレート・ワーグナーの生涯(下)戦中・戦後編 1938-1980

ブリギッテ・ハーマン＝著／鶴見真理＝訳／吉田真＝監訳／アルファベータ 2010年発行

コジマの日記 1・2ーリヒャルト・ワーグナーの妻

三光長治・池上純一・池上弘子＝著／東海大学出版会 2007年発行

リヒャルト・ワーグナーの楽劇

C・ダールハウス＝著／好村富士彦・小田智敏＝訳／音楽之友社 1995年発行

「オランダ人」から「パルジファル」に至る諸作品をワーグナーの自己解釈から解放、総合芸術作品としてとらえ直した画期的な研究書。

ワーグナー クルト・フォン・ヴェステルンハーゲン＝著／三光長治・高辻知義＝訳／白水社 1995年発行

ワーグナー研究の第一人者による最も正統的な評伝。今日までの主要なワーグナー文献を渉猟した上で、同時代人の証言や、妻コジマの日記、ワーグナー自身の手紙や手記などからその芸術世界の内面に光を当てる。

ワーグナーの上演空間

バリー・ミリントン ステュアート・スペンサー＝編／三宅幸夫＝監訳／音楽之友社 1997年発行

欧米におけるワーグナー作品の上演と受容という独自の観点に絞った、一流の研究者や現場スタッフ 10人による論文集。

エルザの夢 新しいワーグナー像を求めて 三光長治＝著／法政大学出版局 1987年発行

バイロイト祝祭劇場のオーケストラ・ボックス、コントラバスの林立する奈落まで赴いた自他ともに許す大のワグネリアンが、40年に及ぶ遍歴の折々に綴ったワーグナー傾聴録。

リヒャルト・ワーグナーの芸術 渡辺 護＝著／音楽之友社 1965年発行

ワーグナーの芸術を、音楽・文学・演劇その他、広範な観点から描き出した労作。

ワーグナー大事典

バリー・ミリントン＝原著監修／三宅幸夫・山崎太郎＝日本語版監修／平凡社 1999年発行

Richard Wagner : Self-Promotion and the Making of a Brand 出版:Cambridge Univ PR 英語 2012年発行

Verdi And/or Wagner : Two Men, Two Worlds, Two Centuries 出版:Thames & Hudson 英語 2011年発行

ほかにも『タンホイザー』の楽譜・プログラム、ワーグナー関連書籍が多数ございます。詳しくはお問合せください。

公演記録映像

タンホイザー (2007.10.8)【字幕入り】タンホイザー:アルベルト・ボンネマ、エリーザベト:リカルダ・メルベート

DVD

タンホイザー ('89 バイロイト祝祭劇場)タンホイザー:リチャード・ヴァーサル、エリーザベト:チェリル・ステューダー